

“大人”から自然を奪われた子どもたち

～そして保育者は放射能汚染に立ち向かった～



“あ、ミミズ!でもね、触っちゃいけないんだよ。だって、ほーしゃのうあるもん”

はなし：岩倉政城 新医協会長 歯学博士
尚絅学院大学名誉教授
前^{しょうけい}尚絅学院大学附属幼稚園園長

と き：2018年7月7日(土) 13:30～16:30

ところ：大阪府保険医協同会館 5階 M&Dホール

かいひ：会員 1500円 一般 3000円(資料代含む)

定員 100 名



おうちでママから言われた、「花を摘んじゃダメ、アブナイでしょ」
保育所でセンセから言われた、「柿を食べちゃダメ、アブナイから」
大人はみんな「ダメ、アブナイ!」って言う。

でも子どもたちから自然を奪ったのは別の大人・・・。

禁止しかできなかった保育者は保護者と一緒に除染に汗を流しはじめた。

そうして保育者は園庭に自然を再現した。ダメ、アブナイは二度と言わない。

今、わたしたち保育者は「子どもの利益の代弁者」として立ち上がる。

大震災の津波は引いても放射能の津波は7年経っても引かない。福島県では今でも2万人が避難や仮設暮らしを強いられている。帰還者は居ても高齢者が多く、子どもを抱えた親は不本意ながら祖父母と離れ、暮らしている。

たった一つの核発電所の事故で東日本一帯がかくも長く放射能で汚染され、住民の苦難は続いている。いま、世界には核発電炉が400基を超している。福島の子どもたちが虫を怖がり、土に触れず、砂場遊びも忘れた“自然剥奪症候群”になっていることを2015年国連防災会議で、2016年ソウルで、2017年クロアチアで学会報告してきた。

本年6月も現地の保育者を含む報告団8人でプラハに赴き、世界幼児教育・保育機構(OMEP)の総会で世界の人々に訴えてくる。

👤 岩倉先生にお話をお聞きます。

お申込み：新医協まで
詳細は裏面をご覧ください。

大阪府保険医協同会館：〒556-002 大阪府大阪市浪速区幸町1-2-34 Tel 06-6568-7731

アクセス：JR 難波駅より徒歩5分。地下鉄御堂筋線なんば駅より徒歩8分。地下鉄なんば駅、近鉄大阪難波駅下車 なんばウォーク街 26-A か 30-B より徒歩5分。🚶 港町西交差点を右折れ、夕張屋ビルななめ向かい



岩倉政城 略歴：

現職：新医協会長、尚絅学院大学放射線研究班代表。歯学博士、尚絅学院大学名誉教授。

略歴：1968 東京歯科大学卒、1973 東京医科歯科大学大学院修了、同年東北大学赴任、1986 東北大学助教授、2008～2016 尚絅学院大学教授、2009～2018 年 3 月同大学附属幼稚園長。学生時代からイタイイタイ病発生地区の歯の蒐集を開始、大学院在学中に「Cadmium 汚染地区における歯牙中 Cadmium について」論文発表。

主な研究：発達心理学、虐待早期発見予防、口臭の診断と治療、薬物副作用、放射線医学。

主な著書：ボクってすごい・ワタシってすごいと思える子を育てる（芽ばえ社）、かみつく子にはわけがある（大月書店）、えんちょうピッピの子育てだより（芽ばえ社）、口から見た子育て（大月書店）、五感ではぐくむ子どものころ（かもがわ出版）、口を通した子どもの発達（芽ばえ社）、指しゃぶりにわけがある（大月書店）。

主催・連絡先：

新医協(新日本医師協会)

〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-10-2 日高ビル 405

Tel 03-3988-8387 Fax 03-3983-6165

講演申込：申込書を Fax 後、下記口座にお振込み下さい。

郵便振替：00110-4-193012 新日本医師協会

（郵便局備付けの用紙・通信欄に講演と参加者名を必ず明記）

※申込書とご入金の確認後、受講票をお送りします。

※開催日間近の時は、必ず電話での確認をお願いします。



2018/7/7 “大人”から自然を奪われた子どもたち（講演会申込書）

氏名： _____ 職種： _____ 一般・会員

勤務先名： _____

勤務先 Tel： _____ E-mail _____

受講票の送り先：（自宅・勤務先）〒 _____

領収書：要・不要 ※要の場合宛名 _____

意見・質問 _____

Fax

03-3983-6165